

# 第 5 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(水戸那珂森林計画区)

計 画 期 間  
自 平成27年 4 月 1 日  
至 平成32年 3 月 31 日

関 東 森 林 管 理 局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養 <sup>かん</sup> タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	3
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	5
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	6
	(1) 保護林の名称及び区域	6
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	6
6	レクリエーションの森の名称及び区域	7
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	8
8	その他必要な事項	8
	(1) 施業指標林、試験地等	8
	(2) フィールドの提供	9
	(3) 森林共同施業団地	9
	(4) その他	10

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

### (2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	110.89	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	232.05	〃	45
ヒノキ長伐期	1,243.02	〃	90
ヒノキ分散伐区	1,301.33	〃	55
アカマツ長伐期	135.67	〃	80
スギ複層林	72.25	水源涵養 <sup>かん</sup> 機能に配慮した非皆伐	45～90
ヒノキ複層林	168.40	〃	55～110
その他複層林	3.29	〃	定めない
ぼう芽分散伐区	123.58	伐採面積の縮小、モザイク的配置	25
択伐	487.67	(注1)	回帰年は定めない
その他	234.20	(注2)	定めない
設定外	313.51	(注3)	定めない
合計	4,425.86		

- (注) 1 択伐施業群の伐採は森林の管理経営の指針で定める伐期齢以上とし、水源涵養<sup>かん</sup>機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。
- 2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。
- 3 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。
- 4 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	7	
スギ分散伐区	26	
ヒノキ長伐期	69	
ヒノキ分散伐区	118	
アカマツ長伐期	8	
スギ複層林	8	
ヒノキ複層林	15	
その他複層林	0	(0.33ha)
ぼう芽分散伐区	25	
択伐	49	
その他	23	
合計	349	

## (4) 伐採総量

(単位：材積 $m^3$ )

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	— (—)	—				
自然維持タイプ	—	517 (4.54)	517				
森林空間利用タイプ	—	9,525 (130.63)	9,525				
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	スギ長伐期	—	4,586	4,586			
	スギ分散伐区	8,223	6,456	14,679			
	ヒノキ長伐期	—	10,995	10,995			
	ヒノキ分散伐区	26,670	20,335	47,005			
	アカマツ長伐期	—	1,768	1,768			
	スギ複層林	1,338	2,459	3,797			
	ヒノキ複層林	2,541	1,812	4,353			
	択 伐	—	180	180			
	そ の 他	—	4,254	4,254			
	設 定 外	15,961	445	16,406			
	計	54,733	53,290 (689.58)	108,023			
	合 計	54,733	63,332 (824.75)	118,065	6,200		—
年 平 均	10,947	12,666 (164.95)	23,613	1,240		—	24,853

(注) ( ) は、間伐面積(ha)である。

## (再 掲) 市町村別内訳

(単位：材積<sup>m</sup>)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
水 戸 市	365	517	882				
笠 間 市	10,613	20,157	30,770				
城 里 町	43,755	42,658	86,413				
合 計	54,733	63,332	118,065				

(注) 市町村内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	105.10	105.10
	複 層 林 造 成	—	—	—	18.75	18.75
	計	—	—	—	123.85	123.85
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	8.76	8.76
	計	—	—	—	8.76	8.76
合 計		—	—	—	132.61	132.61

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ°	合 計
保 育	下 刈	—	—	—	385.30	385.30
	つ る 切	—	—	—	18.90	18.90
	除 伐	—	—	5.08	50.05	55.13

3 林道の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	団子石	232	400	(格上)
		団子石支線	232	1,800	
		影 沼	271	1,200	
	小 計	3路線		3,400	
	改 良	下赤沢	244	60	
		南山内	234	50	
		影 沼	269	40	
		御前山	28, 29	240	
	小 計	4路線		390	
	計	開 設	3路線		3,400
改 良		4路線		390	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
236、237、245、246、248	保安林の整備	本数調整伐 除 伐	29ha
合 計	保安林の整備		29ha

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

## 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

当計画区では、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保全を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新 設 ・ 既 設	面積 (ha)	位 置 (林 小 班)	特 徴 等
植 物 群 落 保 護 林	成 沢 暖 温 帯 性	既 設	2.32	1 ほ	暖帯林の北限に属し、 モミ、カシ類、スダジ イ等を主とした天然 林。
植 物 群 落 保 護 林 計			2.32		
特 定 動 物 生 息 地 保 護 林	片庭姫春蟬	既 設	0.30	242と	ヒメハルゼミの生息地 として、国の天然記念 物に指定されている。
特 定 動 物 生 息 地 保 護 林 計			0.30		
合 計			2.62		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

### (2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
森林スポーツ林	北山	既設	56.94	254 ろ1、と、わ3、た1、 ね、む	この森の特徴は、「白鳥の湖」と呼ばれる人造湖が、その周囲の自然と調和し、ハイキング、自然探勝に適している。 また、市街地に近く、緩傾斜地なので大規模な森林スポーツ施設等の利用も可能な地区である。	育成複層林へ導くための施業 (以下、育成複層林施業という。)	整備されている代表的な施設は以下のとおり  実施主体：笠間市 ・キャンプ場 ・園地 ・歩道  実施主体：民間 ・休憩施設 ・射撃場	国が整備する施設整備の計画なし	
				254 ろ2～へ、ち、り1、ぬ、 る、わ2、よ、た2～つ、 な、ら、う～お2		天然生林へ導くための施業 (以下、天然生林施業という。)			
				254 イ、ハ～ホ、ト、チ、 ヨ～タ		林地以外			
森林スポーツ林計			59.63						
風景林	太古山	既設	5.26	15ろ、ぬ  15へ	清音寺境内に隣接し、天然林の針広混交林と樹齢100年を超えるスギ大径木が調和した景観を形成している。	育成複層林業施  天然生林業施	なし	国が整備する施設整備の計画なし	
	御前山	既設	202.65	29 ろ1～り、る、わ 30 ろ、に～ほ4  29 ぬ、か～た 30 い、は  29 イ 30 ハ、ニ	計画区最北部に位置し、御前山と那珂川の調和した景観を呈している。	育成複層林業施  天然生林業施  林地以外	実施主体：国 ・看板  実施主体：茨城県 ・歩道  実施主体：城里町 ・休憩施設 ・歩道	〃	
風景林計			207.91						
合計			267.54						

## 7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

## 8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業 指標 林	間伐施業指標林	H10	24.69	269 ろ <sub>1</sub>	間伐技術の定着及び普及並びに充実を図る。
			11.52	269 ろ <sub>2</sub>	
			0.20	269 ろ <sub>5</sub>	
			1.00	269 は	
	超長伐期施業指標林	H12	0.30	25 う	
施業指標林計			37.71		
試験地	低コストおよび需要に応じた苗木選定のための実証実験	H24	3.25	25 か	
	高齢級人工林の施業体系の確立	H19	123.06	1 ほ外	
	桂試験地	H24	0.02	32 い <sub>1</sub>	
	アカマツ林における地下部マツタケ菌の継続的定量実験	H24	30.75	246 り <sub>2</sub> 外	
	コンテナ苗による広葉樹造林技術の開発	H16	0.30	252 り <sub>3</sub>	
	伐期の長期化に伴う森林管理手法の開発	H 8	20.44	258 ろ <sub>2</sub>	
	マルチシートによる下刈作業の省力化技術の開発	H14	0.10	263 ほ <sub>1</sub>	
	採種園産種苗の銘柄化に関する研究	H16	0.29	268 ろ <sub>2</sub>	
	ケヤキ遺伝子の保存と特性評価試験	H 8	4.67	273 こ <sub>1</sub>	
試験地計			182.88		

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
展示林	内山スギ展示林	H 3	0.35	28 ち	地域を代表するスギ 美林
	御前山ケヤキ展示林	H 3	1.65	30 ろ	明治16年頃植栽した 高齢ケヤキ人工林
	クローンによるスギ ・ヒノキ品種見本林	H 8	4.92	256 ほ <sub>9</sub>	遺伝資源保存、林業 知識・技術の普及・ 啓発
展示林計			6.92		
検定林	遺伝試験林	H11	0.88	23 の <sub>1</sub>	(関東68、69号)
	〃	S61	0.56	31 れ	(関東54号)
	〃	H 6	0.31	260 ろ <sub>5</sub>	(関東62号)
	試植検定林	S53	0.57	273 い <sub>4</sub>	(関東試3号)
	〃	S53	0.65	273 い <sub>5</sub>	(関東試4、5号)
	育種集団林	H17	0.32	269 い <sub>5</sub>	(関東67号)
次代検定林計			3.29		
合 計			230.80		

(2) フィールドの提供  
該当なし。

(3) 森林共同施業団地  
該当なし。

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
5 は <sub>1</sub>		育成単層林へ導くための施業
1 い、は、に、へと <sub>2</sub> 2 は、ほ <sub>1</sub> と、り、かへね、ら、う <sub>1</sub> や、けへふ <sub>2</sub> 、 3 いへは <sub>2</sub> 、ほ、へ 4 い、は 5 い、にへへ 6 は <sub>1</sub> へは <sub>4</sub> 7 い、ろ、と、ち、ぬ、わ、よ 9 ろ、ほ、へ、ち 15 ほ、と、り、る <sub>1</sub> へわ 28 は <sub>1</sub> へに、へ、と、りへわ、よへれ 29 い <sub>1</sub> へい <sub>4</sub> 31 ぬ 237 は <sub>1</sub> 、は <sub>2</sub> 、に <sub>1</sub> へほ、へ <sub>3</sub> 、へ <sub>5</sub> 246 る <sub>1</sub> 251 たへね、らへう <sub>1</sub> 、の、お、く <sub>2</sub> へこ、てへさ、めへし <sub>1</sub> 、 ひへす <sub>4</sub> 252 り <sub>1</sub> 、か <sub>1</sub> 、か <sub>2</sub> 、そ 253 い <sub>1</sub> 、ろ <sub>1</sub> 、は、ほ <sub>1</sub> 、へ、わ、たへれ <sub>2</sub> 254 い 260 へ 261 に、ほ		育成複層林へ導くための施業
1 ろ 2 ろ、ち、ぬへわ、な、む <sub>1</sub> へむ <sub>3</sub> 、ま 3 に 4 ろ、にへり 5 ろ、は 6 い 7 はへへ、り、る 9 い、は、と、り、ぬ 15 に、ち 28 ろ、ほ、か、そ 237 ろ、は <sub>3</sub> 246 か、よ、た 251 な、え、ゆ 252 ろ、る、わ、よ、れ 253 い <sub>2</sub> 、い <sub>3</sub> 、ろ <sub>2</sub> 、に、ほ <sub>2</sub> 、とへる、よ		天然生林へ導くための施業
6 イ 9 イ 15 イ 30 イ、ロ 251 ニ 253 イ、ロ <sub>1</sub> 254 ロ		林地以外
計	491.52	

(注) (1) の箇所を除く。